

(一財)長崎県剣道連盟

広報誌 第25号

剣道だより (KENDO Nagasaki)



大鼓の打たれて処暑の音色かな (小澤克己)・・・ 処暑(しよしよ)

～ 大鼓の打たれて処暑の音色かな ～

小澤克己(おざわ かつみ 1949年8月1日 - 2010年4月19日)は、埼玉県出身の俳人として活躍した「処暑」の句です。この俳句には大いに共感するものがあります。季節を運んでくるのは自然だけでなく、祭りやお盆の行事など地域風情がほんの少し、涼しさを運んでくれる処暑を歌った句です。蓮田や稲田、土手の上を風が吹き渡っていきます。2022年8月23日は処暑(しよしよ)です。二十四節気の一つで、処は落ち着くという意味があり、処暑は、暑さが落ち着き始める頃という意味があります。

処暑の頃は、まだまだ厳しい残暑の日がありますが、北の高気圧が現れ、涼しい空気が入りやすくなります。残暑は、立秋(8月8日頃)から秋分(9月23日頃)までの間の暑さを言います。



写真:ひまわり
花言葉:「希望」

報告(1)・・・令和4年度全国高等学校体育連盟剣道競技 島原高校男子 優勝「日本一」

標記大会が8月5日(金)～8日(日)高知県立春野総合運動公園体育館で開催されました。本県からは男子団体・島原高校、女子団体・西陵高校、男子個人・小柳宏成(島原)、長崎祥太郎(島原)、女子個人・寄田有亜(島原)、三田村明海(西陵)が出場しました。島原高校男子が本県男子団体としてはじめてのインターハイ優勝を果たしました。決勝戦の日章学園(宮崎)では相手先鋒にメんとツキの2本で先行されましたが、島原の中堅西山がメンで一本勝ちをしました。日章学園が本数リードの大將戦となり、試合終盤に島原大将長崎がメンを決めて一本勝ち、島原が逆転で初優勝を果たしました。男子個人戦では小柳宏成(島原)が4回戦まで進出し、ベスト16の結果を残しました。



写真:剣道情報総合サイト LET'S KENDO より

【決勝戦】

学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	対戦結果
島原(長崎)	井上	小柳	西山	内藤	長崎	2 2
日章学園(宮崎)	池田	川崎	横山	船迫	荒木	1 1
試合時間	29:33秒	49:0秒	49:0秒	49:0秒	49:0秒	



★島原高校栄光の軌跡★

男子団体

優勝 島原高校(長崎)初優勝

2位 日章学園高校(宮崎)

3位 九州学院高校(熊本)

3位 育英高校(兵庫)

【決勝戦】

○島原(長崎) 2-1 日章学園(宮崎)×

【準決勝戦】

×九州学院(熊本) 1-3 島原(長崎)○

【準々決勝戦】

○島原(長崎)3-1 奈良大付属(奈良)×

【決勝トーナメント1回戦】

×金沢桜丘(石川)0-3 島原(長崎)○

【予選リーグ】

×西京(山口)0-2 島原(長崎)○

×佐野日大(栃木)1-2 島原(長崎)○

【女子個人戦】

【1回戦】

×寄田有亜(島原)一メ 松山若樹(八代)○

×三田村明海(西陵)一メ 島袋百々夏(興南)○

女子団体

優勝 中村学園女子高校(福岡)

2位 明豊高校(大分)

3位 八代白百合高校(熊本)

3位 東海大札幌高校(北海道)

ベスト16 西陵高校

【決勝トーナメント1回戦】

×長崎西陵1-2 明豊(大分)○

【予選リーグ】

△白河(福島)1-1 西陵(長崎)△

×盛岡白百合(岩手)1-2 西陵(長崎)○

【男子個人戦】小柳宏成(島原)ベスト16

【4回戦】

×小柳宏成(島原)メツメ 中尾王真(九学)○

【3回戦】

○小柳宏成(島原)ドード 藤崎 敬(明豊)×

【2回戦】

○小柳宏成(島原)メ一 西 智弘(鹿児島商)×

×長崎祥太郎(島原)一メコ 留場啓伍(大濠)○

【1回戦】

○小柳宏成(島原)メドーメ 中野 海(札幌)×

○長崎祥太郎(島原)メ一 戸田陸斗(岩手)×

報告(2)・令和4年度 第69回全九州高校剣道大会

標記大会が令和4年7月2日(土)～3日(日)福岡県久留米市・久留米市総合スポーツセンターにおいて、7月2日(土)は女子団体戦 予選リーグ～決勝、7月3日(日)は男子個人戦 1回戦～決勝 男子団体戦予選リーグ～決勝女子個人戦 1回戦～決勝が実施されました。男女個人は各県ベスト8以上、男子、女子団体各県準優勝以上(5人制)での開催でした。男子個人では長崎祥太郎(島原)が長崎県勢5年ぶりとなる優勝、女子個人では寺川 舞(島原)が準優勝を果たしました。団体戦は女子の西陵高校と島原高校がそろって3位入賞となりました。男子の長崎南山高校は決勝トーナメントに進みましたが、準々決勝戦で福岡第一高校(福岡県)に1-1の本数負けをしました。また、島原高校は決勝トーナメント進出ができませんでした。

女子団体では6年ぶりに県高総体優勝での長崎県代表として出場した西陵高校は3位でしたが、全国選抜剣道大会準優勝の明豊高校(大分県)に本数勝ちで準々決勝戦を勝ち上がりました。(九州高校剣道大会結果詳細は県連ホームページに掲載)

<p>男子団体 優勝 九州学院高校(熊本) 2位 福岡第一高校(福岡) 3位 東福岡高校(福岡)、敬徳高校(佐賀)</p>	<p>女子団体 優勝 八代白百合高校(熊本) 2位 三養基高校(佐賀) 3位 島原高校(長崎)、西陵高校(長崎)</p>
<p>男子個人 優勝 長崎祥太郎(島原) ベスト8 水口快(長崎南山)</p>	<p>女子個人 2位 寺川 舞(島原) ベスト8 永井 萌(島原)</p>
<p>【男子団体結果】 【男子 準々決勝戦】 ×長崎南山(長崎)1-1福岡第1(福岡)○ 本数負け 【男子 予選Bリーグ】予選3位 1勝2分け △島原(長崎)1-1東福岡(福岡)△ ○島原(長崎)1-1大分上野丘(大分)×本数勝ち △島原(長崎)0-0鹿児島商業(鹿児島)△ 【男子 予選Cリーグ】長崎南山 2位通過 1勝1敗1分 △長崎南山(長崎)0-0明豊(大分)△ ○長崎南山(長崎)2-0日章学園(宮崎)× ×長崎南山(長崎)0-1敬徳(佐賀)○</p>	<p>【女子 準決勝戦】 ×島原(長崎)0-1三養基(佐賀)○ ×西陵(長崎)0-2八代白百合(熊本)○ 【女子 準々決勝戦】 ○島原(長崎)4-0高千穂(宮崎)× ○西陵(長崎)1-1明豊(大分)×本数勝ち 【女子 予選Aリーグ】島原 予選1位 2勝1分け △島原(長崎)1-1中村学園女子(福岡)△ ○島原(長崎)3-0樟南(鹿児島)× ○島原(長崎)4-0敬徳(佐賀)× 【女子 予選Bリーグ】西陵 2位通過 2勝1敗 ×西陵(長崎)0-1八女(福岡)○ ○西陵(長崎)2-1宮崎日大(宮崎)× ○西陵(長崎)3-1興南(沖縄)×</p>
<p>【男子個人】優勝 長崎祥太郎(島原) 【決勝戦】 ○長崎祥太郎(島原)メー有川剣(鹿児島商)× 【準決勝戦】 ○長崎祥太郎(島原)メー児玉一輝(明豊)× 【準々決勝戦】 ○長崎祥太郎(島原)メー水口快(長崎南山)× ベスト8</p>	<p>【女子個人】準優勝 寺川 舞(島原) 【決勝戦】 ×寺川 舞(島原)一メ 池田胡春(中村学園女子)○ 【準決勝戦】 ○寺川 舞(島原)メー 鈴木瞳美(中村学園女子)× 【準々決勝戦】 ○寺川 舞(島原)ド一 眩岡桃香(鹿児島女)× ×永井 萌(島原)一メ松山若樹(八代白百合)○</p>
	
<p>優勝 長崎祥太郎(島原) 写真:長崎新聞より</p>	<p>準優勝 寺川 舞(島原) 剣道情報総合サイト LET'S KENDO より</p>

報告(3)・令和4年度玉竜旗高校剣道大会

標記大会が令和4年7月25日(月)～29日(金)福岡市総合体育館・照葉積水ハウスアリーナで開催されました。玉竜旗高校剣道大会には男子455、女子333チームがエントリーしました。女子の部には長崎県勢11チームが参加しました。日本一を狙った島原高校は6回戦で準優勝した明豊高校(大分)に大将戦で惜敗し、ベスト16でした。西海学園高校は5回戦で敗退し、ベスト32でした。男子の部には長崎県勢16チームが参加しました。6回戦で長崎南山高校が秋田南高校(秋田県)に大将戦で惜敗し、ベスト16でした。島原高校が5回戦に龍谷高校(佐賀県)大将戦で惜敗しベスト32、4回戦では県勢対決となり鎮西高校が島原高校に敗れました。

(玉竜旗高校剣道大会結果詳細は県連ホームページに掲載)

【10人、5人抜き】女子：岩永歩奈(向陽)5人抜き、男子：前田旺駕(島原)10人抜き、水口快(長崎南山)5人抜き2回

男子結果

優勝 九州学院高校(熊本)
準優勝 福岡第一高校(福岡)
第3位 杵築高校(大分)
第3位 日章学園高校(宮崎)

女子結果

優勝：中村学園女子高校(福岡)
準優勝：明豊高校(大分)
第3位：八代百合学園高校(熊本)
第3位：筑紫台高校(福岡)



前田旺駕(島原)10人抜き

男子団体

【6回戦】長崎南山 ベスト16
長崎南山(長崎)● - ○秋田南(秋田)
3勝4敗1分 大将同士

【5回戦】

龍谷(佐賀)○ - ●島原(長崎)
0勝1敗4分 不戦1

長崎南山(長崎)○ - ●済美(愛媛)
5勝0敗 不戦4 (水口快5人抜き)

【4回戦】

鎮西学院(長崎)● - ○島原(長崎)
5勝0敗 不戦4 (前田旺駕10人抜き)

長崎南山(長崎)○ - ●広(広島)
2勝0敗3分 不戦2



水口快(長崎南山)5人抜き2回

女子団体

【6回戦】島原 ベスト16
島原(長崎)● - ○明豊(大分)
0勝1敗 大将同士

【5回戦】

五泉(新潟)● - ○島原(長崎)
3勝0敗2分け 不戦2

錦江湾(鹿児島)○ - ●西海学園(長崎)
1勝2敗2分け 不戦2

【4回戦】

敦賀(福井)● - ○島原(長崎)
1勝0敗4分け 不戦1

西海学園(長崎)○ - ●鈴鹿(三重)
4勝3敗1分け 大将同士

岡崎城西(愛知)○ - ●長崎日大(長崎)
0勝1敗4分け 不戦1

長崎東(長崎)● - ○日大高(神奈川)
0勝4敗1分け 不戦3

樟南(鹿児島)○ - ●向陽(長崎)
0勝1敗4分け 大将同士

報告(4)・令和4年度第64回全国教職員剣道大会

標記大会が令和4年8月11日(木)ホワイトリング 長野市真島総合スポーツアリーナにおいて開催されました。大会は5人制団体戦、個人戦2部門(男子の部、女子の部)が実施されました。団体戦は1回戦長崎県2-2山口県に本数勝ち、2回戦長崎県0-0で群馬県に代表戦で惜敗しました。個人戦男子の部で宮崎東平(長崎県)は3回戦で準優勝した西山晃平(神奈川県)にコテをとられ惜敗しました。女子の部では野崎優花は1回戦の延長戦で下宮朋華(広島県)にメンをとられ惜敗しました。

【2回戦】

×長崎県 0(0)-0(0) 群馬県○※代表戦

【1回戦】

○長崎県 2(3)-2(2) 山口県×

【男子個人】

【3回戦】

×宮崎東平(長崎県)ーコ 西山(神奈川)○

【2回戦】

○宮崎東平(長崎県)メー 山下渉(香川県)×

【1回戦】

○宮崎東平(長崎県)ツー 森啓児(大阪府)×

団体戦	先鋒	岩永一恵	四段
	次鋒	本多徳孝	五段
	中堅	宮崎東平	錬士六段
	副将	中野尚志	教士七段
	大将	有地孝史	教士七段
個人戦	男子の部	宮崎東平	錬士六段
	女子個人	野崎優花	錬士七段



写真：長崎県教職員チーム

【女子個人】 【1回戦】 ×野崎優花(長崎県)ーメ 下宮朋華(広島県)○

報告(5)・令和4年度九州中学校剣道大会 女子 諫早中学 2位、男子 長崎南山中 3位

標記大会が令和4年8月9日(火)～8月10日(水)に長崎県大会において団体戦優勝校・準優勝校、個人戦1～3位の選手が鹿児島県薩摩川内市サンアリーナで開催された九州中学校剣道競技大会に出場しました。男子団体戦は長崎南山中学校が決勝トーナメントに進み、準々決勝で優勝した大野東中学校(福岡県)に2-3で惜敗し、3位入賞を果たしました。女子団体では諫早中学校が決勝で杵築中学校(大分県)に敗れましたが、堂々の準優勝でした。

(九州中学校剣道大会結果詳細は県連ホームページに掲載)

<p>男子団体 優勝 大野東中学校(福岡) 2位 鶴崎中学校(大分) 3位 長崎南山中学校(長崎)、九州学院中学校(熊本)</p>	<p>女子団体 優勝 杵築中学校(大分) 2位 諫早中学校(長崎) 3位 菊池南中学校(熊本)、唐津東中学校(佐賀)</p>
<p>【男子団体】 【準決勝】 ×長崎南山中(長崎)2-3 大野東中(福岡)○ 【準々決勝】 ○長崎南山中(長崎)3-1 北茂安中(佐賀)×</p>	<p>【女子団体】 【決勝】 ×諫早中(長崎)1-4 杵築中(大分)○ 【準決勝】 ○諫早中(長崎)2-2 唐津東中(佐賀)× 代表戦勝ち 【準々決勝】 ○諫早中(長崎)2-1 老司中(福岡)×</p>
<p>【男子個人】 【3回戦】 ×太田瑛崇(有明中・長崎) —コ 西 寿弘(伊集院中、鹿児島)○ 【2回戦】 ○太田瑛崇(有明中・長崎)コ— 伊藤光佑(明豊中、大分)× ×押淵 碧(南山中・長崎)— メメ 宮川太良(明豊中、大分)○ ×寺川叶真(橘中・長崎) —メ 林 晃毅(大野東中、福岡)○ 【1回戦】 ○寺川叶真(橘中・長崎)メ— 水口 翔太(杵築中・大分)× ○太田瑛崇(有明中・長崎)コメ— 有門隼哉(長峽中・福岡)× ○押淵 碧(南山中・長崎)メコ— 仲間亮輔(南風原中・沖縄)× ×神田雄吏(石田中・長崎) —メ 嶋田翔太(大和中、佐賀)○</p>	<p>【女子個人】 【2回戦】 ×高橋ひな(佐世保北中・長崎) —メド 牛嶋柚希(神埼中、佐賀)○ 【1回戦】 ×本田 滯(橘中・長崎) —ドド 杉田 陽(大塚中・宮崎)○ ×久保 凜々果(桜が原中・長崎)コメ— 園田咲良(宮之城・鹿児島)○ ○高橋ひな(佐世保北中・長崎)コ— 時村歩実(杵築中・大分)× ×戸田胡桃(日宇中・長崎) メ—メコ 吉松美織(須恵中、福岡)○</p>

報告(6)・令和4年度長崎県中学校体育連盟 剣道競技

標記大会が令和4年7月23日(土)諫早市小野体育館(メインアリーナ)において開催されました。長崎県内各地区大会を戦い抜いた選手の熱戦が繰り広げられました。男子団体では長崎南山中学校(長崎)が6連覇を果たしました。女子団体は橘中学校(長崎)が優勝しました。また、個人男子優勝は太田瑛崇(有明中学校)、女子優勝は戸田胡桃(日宇中学校)でした。

(詳細は長崎県剣道連盟ホームページに掲載)

<p>男子団体 優勝 長崎南山中学校(長崎) 2位 東長崎中学校(長崎) 3位 玖島中学校(大村)、有明中学校(島原)</p> <p>男子個人 優勝 太田瑛崇(有明中) 2位 押淵 碧(長崎南山中) 3位 寺川叶真(橘中)、神田雄吏(石田中)</p>	<p>女子団体 優勝 橘中学校(長崎) 2位 諫早中学校(諫早) 3位 佐世保北中学校(佐世保)、東彼杵中学校(東彼杵)</p> <p>女子個人 優勝 戸田胡桃(日宇中) 2位 久保凜々果(桜が原中) 3位 本田 滯(諫早中)、高橋ひな(佐世保北中)</p>
---	---



優勝長崎南山中学校(長崎)



男子個人入賞者



優勝 橘中学校(長崎)



女子個人入賞者

読み物(5)・・・剣豪「昭和の剣聖：紙本栄一」(かみもと えいいち) (現代剣道百家箴より)

紙本 栄一(かみもと えいいち、1903年(明治36年)8月5日～1995年(平成7年)12月6日)山口県熊毛郡田布施町の農家の長男として生まれる。段位は剣道範士八段、居合道範士九段(全日本剣道連盟)。流派は夢想神伝流居合。

私の剣道修行紙本 栄一(居合道範士九段、剣道範士八段)

わたしの恩師は、明治大正昭和の剣聖と云われた剣道範士・居合道範士・杖道範士の中山博道先生である。先生は、常に門弟に対して「なしがたいことをなすのが修行である。」と話しておられたが、この教えは今でも私の頭に強く残っている。

「なしがたいことをなすのが修行である。」

昔から剣道は「打たれて修行せよ」と言われている。剣道は礼に始まり礼に終わるのである。打たれて「参りました」と頭を下げるのは剣道よりほかにはない。次に相手を打ち返せば相手も「参りました」と頭を下げるのである。これが真の修行であり、これを積み重ねてこそ、自然に人間形成ができ上り、人格修養のもとになる。

わたしは「剣道の本質とはなんぞや」との問いにいつも「字に書けば正直と書く」と言っている。剣道は正しい姿勢・態度・気合い、打つ太刀は直でなければならない。いくらうまくあたってごまかし剣では上達は不可能である。昔の剣客島田虎之助先生は「心正しからざれば剣も亦正しからず」とうたわれ、剣を学ばんとする者はまず心をみがけ」と言われた。精神と身体が一致しなければりっぱな者とは言われない。ゆえに、剣道修行者は、剣理と剣技を修養鍛錬してこれを完全に身につけるとともに、偉大な精神力と強力な肉体力を養成しなければならない。精神力は、身体上の障害を克服し、また暴力の横行を許さない力となり、そして肉体力は、それらいつさいを克服し尽くすに足るものである。

「好きこそものの上手なれ」

最近、全国的に青少年の剣道が盛んになってきたが、このことは青少年育成に剣道が必要であると言うことが一般的に認識されてきたことによるものであってまことに喜ばしい。吾々は、このような一般の期待に副うべく青少年の指導法を誤らないように心掛けることがたいせつである。そのためには剣道が好きになるように指導することが必要である。昔から「好きこそものの上手なれ」と言われているように 青少年が「飯を食べるよりも剣道が好きだ」と言うように指導する者こそ立派な指導者であると言わなければならない。剣道ばかりでなく、他の勉強もまた同じである。

わたしが今日あることは、ひとえに剣道のおかげである。剣道により、自己の修養を積むことができ、そのうえ世のため人のためになればこれほど幸福なことはない。

これからも、剣道を通じて青少年の健全育成に努めていくつもりである。

お互いに汗を流すことの中にこそ、一生の修行があり、わたしたちの人生があるのではないだろうか。わたしは、69才になった今も毎日若い人を相手にけいこをすることができる。わたしの人生は、剣道のできるかぎり幸福と感謝の念でいっぱいなのである。

大先輩の諸先生方は今なお矍鑠として稽古をつけておられる。これに比べるとわたしたちはまだまだ子供であり、努力しなければならないと思う。修業に終りが無いとは、心の修行の無限をさしたものである。

